

# ヤンマーマリンインター ナショナルアジア株式会社

## 世界を見据える ヤンマーのマリン事業

日本を代表する企業「ヤンマーホールディングス」は、1912年の創業以来、農業・建設・マリン・エネルギーなど幅広い分野でグローバルに事業を展開しながら、私たちの暮らしを支えています。そんな同社の特徴のひとつが「ダイバーシティ&インクルージョン」を強く推進していること。新たな価値の創造、豊かな未来の実現を目指し、「国籍、文化、年齢、性別、宗教、キャリア、障がい」の有無などに関わらず、多様な人材が活躍できる環境を整えています。もちろん、障がい者雇用にも積極的に取り組んでいます。

グループ全体の取り組みとして、2014年に障がい者雇用推進に向けて「ヤンマーグループの特例子会社」<sup>※1</sup>を設立。その他にも、ヤンマーグループにおける障がい者雇用促進を目的とした各社人事担当者向けの研修が定期的

に開催されるなど、グループをあげて採用支援・採用後の定着支援を行っています。

今回ご紹介する「ヤンマーマリンインターナショナルアジア」は2020年、グループの組織再編に当たり、海外を見据えたマリン事業の新会社として設立されました。前身であるヤンマー造船で培った技術を生かし、舟艇の開発・製造、マリンエンジンの開発、バイオ生産（二枚貝の養殖）などの事業を行っています。

※1障がい者の雇用に特別な配慮した企業  
※2障がい者雇用の促進において、親会社の事業に「みまな」をします。

## トライ&エラーを繰り返し、 雇用の在り方を模索

「ヤンマーマリンインターナショナルアジア」が障がい者雇用で踏み切ったのは5年前。企業としての社会的責任、障害者雇用促進法の改正（法定雇用率のアップ）、人員確保の必要性などを複合的に考え、精神障がい者の受け入れを始めました。しかし、最初から上手くいった訳



▲生産統括部/生産部 部長 岩尾好幸さん

ではありません。障がい特性を踏まえ、第一工場の舟の組付ラインに配属したんですが、現場に混乱が起きました。原因は明確、私たちの準備不足です。危険のない作業の切り出しなどは行っていたものの、事前説明や指示系統の整備まで気が回らなくて。納期に追われる組付作業も合わなかったようです。本人からも、現場スタッフからも、不安の声が上がってきました。そう振り返るのは工場を統括する部長の岩尾さん。その後、本人や周囲の意見を聞きながら、組付ラインから、比較的ゆとりのある部材成形グループへ配置転換。さらに、複数の指示でパニックにならないように専属

**障がい者のための配慮で、  
誰もが働きやすい職場に**

入社4年を迎える川野さんは、現在第二工場での舟の組付の前準備や完成後の清掃を担当。文字や数字を理解するのが苦手なため、作業にあたっては、スタッフ全員で考えたオリジナルの治具<sup>※2</sup>を活用しています。「配線が必要な長さにカットする作業を任せているのですが、メジャー（数字）を使うことができないので、配線の長さに合わせたロープを用意しています。配線にロープを当て、その長さにカットするだけなので、ミスがありません。30種類以上のロープを一目で分かるように色分けして置いてあります。他にも、安全な工具を選定するなど配慮



した結果、工場全体でミスやケガを減らすことができました。そう話すのは川野さんを直接指導する職長。川野さんに向けての配慮が、全てのスタッフにとって安全にミスなく作業できる環境づくりにつながっています。

最後に、障がい種別ではなく、障がい者本人と向き合うことが大切です。人柄を知れば、この人が活躍するためには、どうすればいいだろうと自然に考えることができるようになります。その気持ちが出発点です」と話してくれた岩尾さん。現在は、障がい者雇用拡大を見据え、あらゆる方向性、可能性を模索中。すでに、「なかばつ<sup>※3</sup>」や特別支援学校との連携、二工場の自動化に伴う新たな仕事の切り出し（単純作業が増え、障がい者の業務の幅が広がる「バイオ生産（養殖）事業」での雇用の検討）など、新たな挑戦を始めています。

※2障がい者の作業をサポートする道具  
※3障害者就業・生活支援センターの略



入社4年目 川野 信春さん  
知的障がい

ここぞとばかりに働きたい！  
最高の職場です

先に働いていた母の勧めで就職しました。機械や部品が好きなので、舟の仕事は自分に向いていると思います。「超」キレイ好きなので掃除も楽しいです（笑）。自分がキレイにした舟を見ると大きなやりがいを感じます。成長できたのは、職長など、周囲のサポートのおかげです。初めの頃は厳しいことも言われましたが、治具を用意してくれたり、分からないことを教えてくれたり、感謝しかありません。自分でも「不安なことはすぐに聞く、相談する」など、ミスをしないように気をつけています。みんなと仲良くなったこともあって、少しでも長く今の職場で働くことが目標です。

- 川野さんの担当業務
- 舟の組付前の準備作業（道具の準備など）
- 完成した舟の清掃

**職長より一言**

仕事に対しては「真面目」の一言。人手が足りない場所を見つけると「手伝います」と駆けつけてくれる優しい人です。今必要なことを自分で考え、動けるので頼りにしています。



▲川野さんは特別全国障害者スポーツ大会・ボート競艇の代表選手（厚典は2023年）、過去金メダルを獲得したほどの実力の持ち主で、他にも様々な大会で輝かしい成績を残しています。

**Corporate data**

〒873-0421  
大分県国東市武蔵町糸原  
3286-3  
TEL.0978-68-0895